

海外生活 だより

北京事務所

中国の結婚・お見合い事情 ～中国式お見合い参加報告～

(財)自治体国際化協会北京事務所所長補佐
阿部 遼太郎 (東京都文京区派遣)

はじめに

これは、中国における私のお見合い用プロフィールです。現在、中国では結婚を希望する人たちにとってお見合いが大きな出会いの

ツールとなっています。日本で結婚が一大関心事であるのと同様に、中国においても結婚は語り尽くされることのないテーマなのです。

北京市民生局によると北京市内の平均初婚年齢は27歳、私事ですが私も本原稿執筆現在27歳であり、そろそろ結婚を考えてもよいころかと思っています。そこで今回は中国の結婚・お見合い事情の紹介と、調査と実益を兼ねて参加した北京式お見合いについての報告をさせていただきたいと思っています。

- ・27歳
- ・身長177cm、体重60kg
- ・大卒
- ・現住所—北京市〇〇区
- ・職業—公務員
- ・年収△△△万円、貯金□□□万円
- ・マンション—無
- ・自家用車—無

中国人の結婚観

中国では、ここ数年来の経済環境の大変動が若い男女の恋愛・結婚観を変化、混乱させていると言われています。2007年と2008年に中華全国婦女連合会が行った調査によると、2007年には、調査回答者の77%が、相手を選ぶ条件について人柄、性格が最も重要な基準だと答え、経済力が最も重要だと答えた人はわずか3%に過ぎませんでした。それに対し2008年、世界の金融危機による中国経済への影響は中国人の結婚観にも影響をもたらし、同年末の調査では、回答者の70%近くが家庭環境と経済力のバランスが結婚する際に一番重要な要

素であると回答しました。このころから中国人の恋愛・結婚観は物質的・経済的条件と結びつくようになったという調査報告がなされています。

私が北京に赴任する前目にした記事には、中国ではマンションと自家用車を持っていない男性は女性に見向きもされないといった内容が掲載されていました。しかし、赴任の後、ここ中国においても日本同様格差が叫ばれ、結婚の態様も二極化しつつあるという現実気づくことになりました。豪華な結婚式や新婚旅行にお金をかけるカップルがいる一方、式もなし、指輪もなし、旅行もなしで、ただ婚姻の届出のみ行う「裸婚」と呼ばれる結婚が、収入の少ない中国人カップルたちの間で現在流行しています。このように、中国人の結婚に対する考え方はその時々世相に合わせて変化していています。

中国のお見合い事情

中国のお見合いには、主に以下のようなものがあります。

- ・親同士の関係から設定されるお見合い
- ・各種お見合いパーティー

この二つは日本のそれとほぼ同じ内容です。また、現在中国ではテレビのお見合い番組も流行しており、特に若者の間で爆発的な人気を誇っています。

上記二つに加えてもう一つ、中国において特徴的なお見合いの方式があります。それは、「親同士による代理お見合い会」です。これは、結婚適齢期の子を持つ親同士が、子どもに代わってお見合いを行うというものです。しかしよく調べてみ

ると、このお見合い会は決して親だけしか参加できないわけではないとのこと。一体どのような形式で行われているのか、どんな人たちが参加しているのか、私自身がこのお見合い会に参加し実情を確かめてみることにしました。もちろん、実益も兼ねて。

いざ！お見合い会参加！

今回私が参加したお見合いは、北京市内の公園で行われた、国家民政部直属機関主催の公益プロジェクト「1万人のお見合い大会」という8日間にわたって行われたお見合いイベントです。その名のとおり、婚活中の若者や適齢期の子を持つ親が合計1万人以上集まり、大変なにぎわいを見せることになりました。イベントでは日替わりでお見合いに関するさまざまな催し物が開催されており、その中で親同士の代理お見合い会も行われていました。

代理お見合い会場にたどりつくと、たくさんの中国人が会場内の掲示板を見つめ、何やら必死にメモを書きとめています。近づいてみると、その掲示板には一分の隙間も無いと言って良いほど独身者のプロフィールが貼り付けられていました。プロフィールには、顔写真や氏名年齢、学歴、職業などが記載されており、その数なんと5,000枚！参加者は皆真剣に眼差しで掲示板を見つめています。また、首に子どものプロフィールと写真を提げ、子どもの「お婿さん、お嫁さん」候補者、も



会場でお見合いイベント参加の申し込みをする人々

しくは候補者の親を探したりする人もいます。親たちは愛するわが子のためこれとは思った若い来場者に声をかけ、親同士で自分の子どもの情報交換を行い、少しでも好条件の相手を見つけようとしているのです。

私自身も同様に自身のプロフィールを作成し、掲示板に貼り付けてみました。また、プロフィールを首にかけ会場内に立ち、どんな反応があるか確かめてみました。するとすぐに複数の中国人たちから声をかけられ、「年齢は？」「職業は？」「給料はどれくらいですか？」など、さまざまな質問を受けることになりました。

しかし、中国人たちのなんと積極的なことでしょうか。わが子のためとはいえ、自ら外に出て情報収集を行い、子どもの結婚相手を探し出すのですから（迷惑がる方もいるようですが…）。日本ではなかなか考えられないことだと思います。一人っ子政策世代の子どもたちが結婚適齢期を迎えた今、たった一人のわが子のため親たちも必死です。



掲示板を見て真剣にメモを取る中国人たち、私のプロフィールもこの中に…

おわりに

今回のような大規模なイベントに限らず、中国では週末になると適齢期の子を持つ親たちが公園に集まり、互いに子どもの結婚相手探し、情報交換を行っています。若者もそれに負けず、お見合いで真剣に結婚相手を探しています。私ももちろん、本気です。今しばらくは、北京市内の公園に掲示されたままの私のプロフィールを見た方からの連絡を待ちつつ、他のお見合いイベントにも参加してみたいと考えています。いつかその結果を報告できる機会があれば、と思います。